



# 素で暮らす京都

Live naturally in KYOTO

「一度は京都に住んでみたい」  
千年を超える日本の都ですから、  
そんなふうにいる人は少なくないでしょう。  
でも「観光客が多くて住みにくいんじゃないか」、  
「独自のしきたりがあったりして敷居が高そう」と  
二の足を踏んでしまう人もいるかもしれません。  
本項では京都市在住の方々のお話とともに、  
「暮らす京都」の魅力を探ります。

## まず、これだけは知っておきたい暮らす京都市のこと

### 自然環境に育まれた立地



京都市は、東・北・西の三方を山に囲まれ、市内各地には社寺林や庭園、緑地が多く存在します。また、都心部を南北に悠々と流れる鴨川は、地域の方々の憩いの場、働く方々にとっての安らぎの場となっており、大都市でありながら豊かな自然環境に恵まれています。日常の中で、ふと心を落ち着け、気持ちよく散策できる環境は、オンとオフを切り替えやすく、京都市の大きな魅力の一つです。

### 人と人がつながるまち



「一見さんお断り」など敷居の高い印象を持たれがちな京都ですが、実際の京都は出会いのチャンネルが多いまち。茶道や伝統芸能といった趣味のサロン、カフェや喫茶店、ギャラリーや古書店など、仕事とも家庭とも違う第3の場所「サードプレイス」が多数あります。そして、それぞれがゆるやかなネットワークで繋がりがゆるやかなネットワークで繋がりが、そこでできた人脈が新たなビジネスにつながることも少なくありません。

### 充実した子育て・教育環境

保育所等・学童クラブ事業での待機児童ゼロの継続(2023年4月時点)など、子育てしやすい環境が充実！歴史的な文化遺産、博物館、ギャラリーなど、文化芸術が身近に息づく理想的な教育環境です。また、教員数も全国屈指で、生徒一人一人に寄り添いながら全国トップレベルの高い学力水準が実現されています。

教員一人当たりの児童数 東京都区部・政令指定都市21都市中
幼稚園 <b>2位</b> 小学校 <b>3位</b>
中学校 <b>4位</b> 高等学校 <b>1位</b>

(出典)大都市比較統計年表 令和2年版

### 京都で暮らしたいと思ったら



“京都のどこに住もう？”“京都での子育てってどうだろう？”など、移住の際に気になる情報が詰まったポータルサイト「住むなら京都」。お役立ち情報が詰まったサイトなので、移住が気になったらまずはのぞいてみてください。

京都市移住ポータルサイト  
**住むなら京都**

## 今回注目するのはこの2区

### 未来に期待が高まるまち

### 南区



**MINAMI AREA DATA**

- 人口：101,970人(市内の約7%の人が住んでいます)
- 交通：JR京都線／近鉄京都線／地下鉄烏丸線
- 名所：東寺、伏見稲荷大社御旅所、六孫王神社、吉祥院天満宮

京都市の南西部にある南区は、桂川と鴨川が流れており、水辺を中心に多くの野鳥が見られ、潤いのある自然環境が広がります。平安時代以降、これらの川を使って全国から集まる大量の物資を担うなど、南区は交通の面で重要な場所となっていました。現在でも京都駅があり、名神高速道路のインターチェンジや京都高速道路に接し、国道1号、24号、171号などの幹線道路が多く通る「京都の玄関口」として、機能しています。南区は、人と人との結びつきが強く、区内の美化活動では、地域一丸となって毎回多くの方が参加されています。また、各学区における子どもの見守り活動など、地域ぐるみでの子育て支援の風土がしっかりと根付き、受け継がれています。

### 今後変化していくまち

2023年に都市計画見直しを行い、「京都駅南部」エリアや「らくなん進都(鴨川以北)」エリアの新しいまちづくりが進行しています。創造的・革新的な企業が集積し、若い世代を惹きつける新たな拠点となることが期待されます。



### 製造業が盛んなまち

南区は、製造業の事業所が約1,100、従業者数は約24,000人と、京都市でも最多を誇るものづくりの拠点です。区民と企業の交流を通してまちと企業が持続的に発展し、力強い経済成長とともに、にぎわいと活力にあふれるまちを目指しています。



### 野菜の名産地のまち

南区エリアは河川が多い地域であることから、豊かな水資源を活用して近郊農業が発達してきました。京野菜として知られる九条ねぎや金時にんじんなど、様々な野菜の産地となっており、地産地消の取組やマルシェなども積極的に開催されています。



### 京都らしさを味わいながら暮らす

### 右京区



**UKYOU AREA DATA**

- 人口：202,047人(市内の約14%の人が住んでいます)
- 交通：阪急京都線・嵐山線／JR嵯峨野線／京福嵐山本線・北野線
- 名所：嵐山、広隆寺、妙心寺、龍安寺、仁和寺

京都市の西北部にある右京区。区の面積は291.95km<sup>2</sup>で、市の面積の35%にあたり、市の中で一番大きな区です。区の北部はほとんどが森林で、緑あふれる山々や清らかな水の流れなど、豊かな自然に恵まれています。右京区は昭和6(1931)年に京都府葛野郡の1町9村が京都市に取り入れられて誕生しました。桂川が流れる嵯峨・嵐山のあたりは四季折々の自然が美しく、平安時代には貴族の別荘地となっていた京都を代表する景勝地です。さらに春は桜の御室、夏は新緑の嵐山、秋は紅葉の高雄、冬は雪の嵯峨など、全国的にも知られている名所が区内にはたくさんあります。

### 国宝が多いまち

太秦の広隆寺にある国宝第1号に認定された「弥勒菩薩像」のほか、区内には京都全体の1/4を超える58件の国宝があります。世界文化遺産に登録された仁和寺、高山寺、天龍寺、など数多くの文化財を有しているのも魅力の一つです。



### 大自然が身近なまち

大阪市とほぼ同じくらいの大きさで、その広大な地の93%が森林という緑あふれる京北エリア。どこでも豊かな自然と美しい清流に出会え、BBQスポットとしても人気。市街地からは車で約40分なので、気軽に訪れられるのも魅力です。



### 映画のまち

日本の映画は京都ではじまったとされ、その中心地は太秦でした。大正15(1926)年に太秦最初の撮影所が建設され、その後も昭和初期にかけて次々に新しい撮影所が誕生。数々の名作映画が、太秦で生み出されました。



## 南区在住のみなさんにお聞きました。



Iさん

在住歴:5年 / 出身地:右京区

双子の姉と共に「空き家バンク京都」の一員として子ども食堂の運営を行う。人に喜んでもらうことが好き。



Uさん

在住歴:9年 / 出身地:山科区

NPO法人happiness理事長として子ども食堂や学習支援を運営。南区の子ども食堂のバイオフィニア。



Oさん

在住歴:8年 / 出身地:東京都

南区出身の夫との結婚を機に京都へ。外国人向けシェアハウスを運営するなど活動は多岐にわたる。

**桂** 川、鴨川の潤いある景色が広がり、農業の盛んな地域として古くから人々の暮らしが営まれてきた南区。市内最大のターミナル・京都駅が立地する京都の玄関口でもあり、利便性を理由に住まいを選ぶ方も多いようです。

### 京都駅が近いという強み。

「夫は異動が多い仕事だったので、住む場所はアクセスのよさが絶対条件でした。やっぱりJR、近鉄、市営地下鉄、新幹線が使える京都駅が近いのは何よりの魅力です。通勤だけでなく日常のお出かけや旅行でも京都駅が起点になることが多いので、利便性は暮らすほどに実感しています」

「南区は産業の街でもあり、大企業の本社が多く立地しているのもあって、交通網に加えて商業施設や教育施設も充実しています。生活基盤が整っていて、公園もたくさんあるので子育てもしやすいです」

「インバウンドに関わる仕事をしたかったので、京都駅の近くしかないと考えていました。実際住んでみて利便性を実感する日々です。京都駅ほどのターミナル駅の近くに暮らせるって実はすごいことですよ」

何世代にもわたって住み続けている方も多いという南区は、地域のコミュニティを育む様々な活動が根付いているそう。

### 様々な地域活動も盛ん。

南区で子ども食堂を運営しているUさんは、地域の方々の理解と協力があつたからこそ続けてこられた、と振り返ります。

「最初はママ友と一緒にこじんまりと始めたのですが、いろんな方が応援したい、関わりたいと言って自然と集まってくれようになり、どんどん活動が広がっていきました。そうした活動を私も含めてみんな楽しんでやっているのがいいなと思いますし、それが住んでいる方にも伝わるのかなと感じています」

同じく子ども食堂を運営するIさんも、南区の懐の深さを感じているそう。

「市内どこでもそんな感じというわけではないので、地域のつながりというのはやっぱり南区の良さだと思います。ネットワークの力が強いですし、新しい取り組みも受け入れてくれる土壌があると感じます。何かを始めたい、挑戦したいという方にもおすすめできる環境です。そんな温かい雰囲気が、南区の暮らしやすさにもつながっているような気がします」

「私も今町内会長を務めています、役員は高齢の方も多のですが、皆さんすごく楽しそうにやってらっしゃる。毎朝道路を掃除して下さったりとか、何気ない日常があつたかいいなと思います」

そう語るOさんは、京都に来てから肩の力が抜けて、とても楽になったといいます。

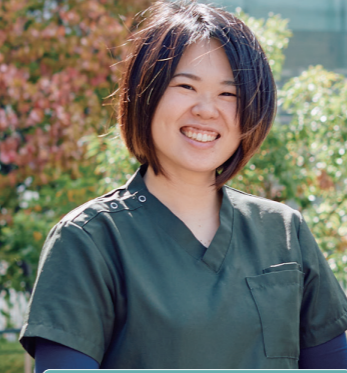
### 素顔の京都を楽しめる。

「よそいきじゃない、素顔でいられる感じが心地よいです。最近京都駅の近くに京都市立芸術大学のキャンパスが移転してきて、ますます多世代の活気が生まれるのではないかと楽しみにしています」

「お祭り、お神輿、地藏盆など地域の伝統行事も盛んなので、そうした素の京都を身近に感じられるエリアだと思います。子どもの居場所もたくさんあるし、老若男女が暮らしやすい街ですよ」

幅広い世代が関わり合いながら日々を楽しんでいる様子が伝わってきます。南区ならではの多様性と利便性は、暮らしを一層豊かにしてくれるでしょう。

## 右京区在住のみなさんにお聞きました。



Nさん

在住歴:29年 / 出身地:右京区

滋賀、宮崎への移住を経て、約1年前に右京区へUターン。区内で整体師として店を営んでいる。



Rさん

在住歴:10年以上 / 出身地:上京区

子育てをする傍ら俳優業、司会業もこなす。お気に入りスポットは子どもと一緒に何度も登った愛宕山。



Tさん

在住歴:16年 / 出身地:右京区

市内の公立校に通う高校生。京北にある祖母の家で古い写真や資料を見つけたのをきっかけに、大の歴史好きに。

**嵐** 山や仁和寺など数々の観光スポットを抱えながら、市内で2番目に人口が多く、暮らしの舞台としても支持されてきた右京区。自然豊かな環境を理由に移住する子育て世代も多く、上京区出身のRさんもそのひとりです。

### 自然豊かでアクセスも抜群。

「北部の京北地域はほとんどが森林というくらい自然豊か。子育てする中で、きっとここでしか体験させてあげられないことがあると思って移住しました。愛宕山に登ったり、桂川沿いでバーベキューしたり、自然に触れる日常が叶えられてよかったです」

生まれも育ちも右京区という高校生のTさんは、ご友人たちと集まる時にどこへでも出やすいのが気に入っているといいます。

「電車だけでなく、市バスの路線も充実していてアクセスは本当に便利です。最寄り駅やバス停から、大抵の場所にパッと行けるので助かっています」

他県への移住を経験した後、故郷の右京区に戻ってきたというNさんは、生活利便性、アクセス、家賃相場などいろんな要素のバランスがいいエリアだと改めて感じているそう。

「JR、阪急、嵐電といくつもの路線が通っているので、車がなくてもどこへでも行けるのは便利です。利便性が高い上に自然もあって、散歩するだけで観光名所に行き合うのは、右京区ならではののかなと思います」

### 京都の名所が日常に。

Nさんが語る通り、京都を代表する文化遺産が数多く点在し、日々の暮らしの中で“京都らしさ”を感じられるのは右京区の大きな魅力です。寺社巡りが好きというTさんにとって、生まれ育った右京区は楽しみが尽きない場所なのだから。

「有名どころから地元の方しか知らない穴場まで、自転車であちこち巡っています。教科書に載っている国宝が実はすぐ身近にあったと知って驚いたり、歴史深いエリアなので足を運ぶほどに発見があります」

「私も幼い頃はお寺が公園みたいなのでした。大人になってから有名な寺だと知って、すごいところで遊んでいたんだなと(笑)」

「景観を守るために電線や高い建物が規制されているので、昔ながらの京都の原風景が残っている

んです。昔の人もこの景色を見ていたんだろうな、と思えるのはいいですね」

### つながりを大切にする街。

暮らしながら千年の都を満喫できる右京区ですが、人の温かさを感じる場面も多く、移住してこられた方でも入りやすい雰囲気があるといます。

「どこに行っても周りの方が優しく話しかけてくれますし、お祭りなど季節行事も盛んで、地域力が高いエリアだと思います。地元を出たいと思ったことがないのは、それだけいいところがたくさんあるからなのかなと思っています」

「町内会の結束はなかなかすごいですよ。地域のつながりの中で暮らしたい方にはおすすめです」

「お店でも常連さんを大切にする文化があるので、暮らして顔が見えてこそわかる良さは絶対にあると思います。自然や文化遺産などお出かけスポットも充実しているので、アクティブな方ほどきっと毎日が楽しいはずですよ」

暮らしやすさと古都の雰囲気が共存する右京区は、京都に暮らす楽しさを存分に満喫できる街といえそうです。

南区の魅力動画をSNSで配信！  
【みなみなみオンライン】



SUUMO ネットにて特別コンテンツ公開  
【京都に暮らせば(SUUMO)】



区民ライターが右京の魅力を発信中  
【右京ファン(Instagram)】



お問い合わせ

京都市 総合企画局総合政策室人口戦略担当  
京都市中京区寺町通御池上る上本能寺町488  
TEL:075-222-3037

